



R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第1734号

事務所 静岡県三島市大社町17-4
TEL (055) 976-6351 FAX 976-6352
例会場 静岡県三島市本町14-31 みしまプラザホテル
TEL (055) 972-2122
会長 亥角 裕巳 幹事 井上 幸子



広重版画より 三島 朝霧

第1796回例会

2009.6.11曇

司会

佐々木雅浩君

ロータリーソング

「我等の生業」
指揮 花房孝光君

会長挨拶

会長 亥角裕巳君

皆様こんにちは。本日は今年度最後の親睦例会です。また今月は三島西RCの創立記念日より数え38年目を迎えます。のちほどチャーターメンバーの小野さんより当時の思い出等のお話を頂きます。

三島西RCも歴史を重ね、国際ロータリークラブも100年を超える伝統を誇るわけですが、ここで「歴史と伝統」ということについて考えてみました。広辞林によりますと「伝統」とは「同じ組織で、昔から受け継がれ現在もなお生命を保っているもの。またそれを受け継いでいくこと。」とあります。国際ロータリーでいえば「四大奉仕」であり、三島西RCでは「親睦」ということであると思いません。

ある老舗企業の調査によりますと、アジアには200年を超える老舗企業が少なく韓国はゼロ、中国は9社、インドは3社、一方日本には3000社と圧倒的に多いということです。もちろん過去の植民地であった時代や政治体制の違い等さまざまな事情がありますが、江戸時代より明治・大正・昭和と激動の時代を生き抜いてきた日本の老舗企業に共通しているのは「適応力」と「本業力」とあるということです。伝統を生かし本業の中で次世代に向け技術を開発し、新分野を開拓していく努力により老舗企業の組織が永続してきたといえます。さらに老舗企業の経営者は異口同音に「伝統は革新の連続である」と言うそうです。

ロータリークラブも歴史を重ねる中、良き伝統を重んじ大切にしながら常に改革・革新を試みて、この組織を次の世代に残し伝えていきたいと思えます。

“こんにちは、ようこそ”

ゲスト 柴崎恵子さん

(小野君・矢岸君・田熊君のゲスト)

-以上1名-

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修出席率
前々回	43/51	84.31%	48/51	94.12%
今回	36/50	72.00%	会員総数	54名

欠席者 石井(良)君、勝間田君、北澤君、久保田君、黒田君、鈴木(郁)君、鈴木(貞)君、鈴木(雅)君、諏訪部(照)君、瀬川君、前田(房)君、松坂君、森崎君、柳田君

幹事報告

幹事 井上幸子君

- ①今月のロータリーレートは1ドル98円です。
- ②6月8日は西クラブ創立記念日です。小野パスト会長にチャーターナイト等貴重な思い出を伺いました。
- ③次回6月18日はクラブ協議会です。各委員長の方にはよろしく願い致します。
例会終了後、新旧各委員会委員長引継ぎ会議を開催致します。
新会員入会式を行います。
- ④6月25日はサヨナラ例会です。
新会員歓迎及び新旧慰労激励会を実施致します。

2008～2009年度
国際ロータリー会長
李 東建(D. K. Lee)

夢をかたちに

おめでとう

会員誕生日	石井(彰)君
入会記念日	西本君、栗原君、田熊君、 井上君、石井(彰)君、 平出君
奥様誕生日	佐野君、鈴木(正)君
結婚記念日	石井(彰)君

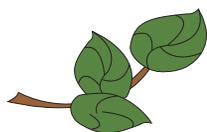
スマイルボックス

- ◆大房正治君(せせらぎ三島RC会長), 6月7日せせらぎ三島20周年記念式典、親クラブの皆様のご協力により無事終了できました事に感謝致します。ありがとうございました。スマイルで御免なさい。
- ◆佐々木君、佐野さん、先日はありがとうございました!
- ◆Bテーブル、5月8日にテーブル会を開きました。せせらぎ亭さんでの食事は大変美味しかったです。伊丹さんにお世話になりました。残金をスマイルします。
- ◆千葉君、ごめんなさい。早退します。

理事会

〈承認事項〉

- ①本年度各委員会予算執行状況を第3例会日までに報告する。
- ②サヨナラ例会(6月25日)は新会員歓迎及び新旧慰労会とする。
- ③本年度予算の実行状況により“ロータリー情報マニュアル”を全会員に配布する。
- ④次年度新旧委員会委員長の引継ぎ打合せ会議を次週例会後に開催する。



卓話

三島西RC創立記念日

小野金彌君

1. ロータリー組織の発展と新しいクラブ設立の意義 ロータリーの拡大

- ・内部拡大・・・新入会員の増強
- ・外部拡大・・・新クラブの設立

ロータリーの組織の特殊性・・・会員は一業種一名(職業分類表に基づく)原則

現在は同業種5名以下、51名以上のクラブは会員数の1割未満

職業分類も当時はR Iで準則を示していたが、現在はクラブの自主性に委ねられている一職業分類の厳しさが新クラブの設立を促進させたものと思う

(アメリカに於ける独占禁止法の発展の歴史、自由の尊重が基本にあると思う)

2. 三島西ロータリークラブ設立の経緯

- ①大場さんが三島RCの会長の時、ガバナーから新クラブ設立の要請があった
- ②然し日大三島にインターアクト設立が決まったばかりでこの育成を優先することになり、新クラブ設立は見送られた
- ③三島RC勝又年度(昭46~47年度)田中ガバナーから要請があり、高野雷さんが特別代表に任命され、新クラブ設立に向かって一気に動き出した。高野特別代表を中心に準備委員として大場、高桑、野田、岩崎氏と勝又三島RC会長が中心となり、三島RCから地域の分割を受け、移籍会員21名と新会員8名を加え、総数29名で田代グリルで創立総会をし、早速R Iに対し認証手続を行った。
- ④高桑副会長の手慣れた手続きと田中ガバナーが任期中で認証を得られるよう努力された結果、6月20日にR Iの認証状を手にすることが出来た。
- ⑤大場会長の人柄と親睦を重んじる会の運営方針により創立早々より既に相当貫禄のあるクラブの様子を示していた。

3. チャーターナイト

チャーターナイトは昭和48年3月21日、新会員も加わり40名で日大講堂で盛大に行われた。升田幸三将棋八段の公演、又有名な藤山一郎先生も参加され、自らタクトを振り協力していただいた。

(週報担当：日高 克)